

第36回市民ふれあいトークー地域力を活かすまちづくりー

日時 平成23年10月4日 18:30~20:00

場所 西阿知公民館

要約版

《市長》

皆さん、こんばんは。今日は夕方のご飯時のそれぞれの大変お忙しいなかで、市民ふれあいトーク、西阿知公民館での開催に多くの皆様、お越しいただきまして、誠に有難うございます。このふれあいトークは、中学校区ごとに市が設置している公民館に、私が伺いまして、その時々市の大きな出来事、例えば皆さんが今一番ご関心がある防災のことなどについて、ご説明を最初にした後、皆様から意見やご質問を頂いたりということで、まちづくりに活かしていきたいというふうに思っておりますので、よろしくお祈いします。

「地域力を活かすまちづくり」という大きなテーマであります。そして今、全国的に一番重要なことは何かと言いますと、やはり東日本の大震災以来、ますます注目度が上がってきている防災のことと思います。今日、先ずこのテーマでお話しして、その後、いくつか進めていきたいと思ひます。

さて、今回の東日本の大震災にあたりまして、まず、私の方から市民の皆様にお礼を申し上げたいと思ひております。倉敷の市内から義援金が約2億円近く集まりまして、現地の県庁の方にそれぞれ防災の口座がありますので、そこに何回かに分けて振込みをいたしました。またボランティア活動についても、倉敷市から現在、300名を越える方が、倉敷市が岩手県の遠野市の方に設置したボランティア拠点に行つて頂いて、活動していただひています。そこを利用していらっしやらない方も、非常に沢山行つて下さつていると伺ひておりますが、私が今回の災害で思ひましたのは、倉敷の皆様が、やはり災害が起つて直ぐに現地の方に色々送つたり、それから何か助けをしていかなければいけないと思ひて活動をしていただいたスピードが、非常に速かつたということです。何故かと聞いてみましたら、皆さんも16年の時に大変助けてもらったということがあつたので、「とにかく助けないと」と思ひて、現地に行つたり、色々物資を集めたりしたと言われてました。

倉敷市はこれまでに、現地の岩手県、宮城県、福島県のうち、13の市と3つの町に支援をしております。その中には、皆さんの物資を運んだりする市の職員も短期で行つております。今は、段々復興の時期になってきて、市の職員を長期派遣してしております。例えば小名浜港という港が福島県にあります。こちらの復興の為に、うちの商工部から1名、長期派遣で行つております。また、福島県の色々な施設が倒れておりますので、その修復や建て直しのために、市の建築の職員が2ヶ月ぐらいつ交代の予定で、現地へ行つております。遠いわけですがけれども、倉敷市としては積極的に支援をしていきたいと思ひてますので、皆様方の御協力をお願いしたいと思ひております。

さて、倉敷の防災のことですが、東南海・南海地震が起つたらどうなるかということ、皆様の方からよくご質問を頂くようになりました。何年前に市の方から各ご家庭に配布したこの黄色と青のハザードマップ、こちらの青の方には津波のハザードマップとして、各地区にもし津波が来たら何処まで来るかということが載つてます。ただ、こちらの地区は、今の想定では津波はここまで来ないということで、この地図の中には詳しく載つておりません。東南海・南海の2つの地震が来たら倉敷市はどうなるかという想定に基づいて、何年前に作つております。それには大体2時間半してから、一番高い所で3

メートル位の津波が来ると書いてあります。それを今、国の方が「何百年周期の大きいのが来たら、東南海・南海じゃなくて東海も全部一緒に起こるかも知れない」ということで、3つ含めたらどうなるかというのをまた計算をしておいてます。それでもし倍の津波の高さのが来たらどうかと計算した所、今よりも最大で1メートル位津波が高くなるんじゃないかと出ており、児島・玉島の沿岸部の方にはそういうお話をしました。それから津波の避難場所についても、標高の高さとかを見直しております、ちょっと標高の低い所はまた別の所を、つい1ヶ月前に発表したところでございます。

こちらの防災マニュアルの方は、各地区の避難場所、こちらの地区であれば西阿知小学校・中学校が書いてある、一般的なものです。それで見直しをしておりますところこの度の台風12号が来まして、皆様の地域でも今までに無い様な浸水があった所も多かったのではないかと考えております。本当に、浸水をされました所にはお見舞いを申し上げます。

この地図は「洪水ハザードマップ」といいます。さっきの青の「津波ハザードマップ」、これは津波について書いてある分です。これは高梁川が、100年か200年に1度の洪水を出した時にどうなるか計算したものです。それで西阿知公民館が、この辺りでございます。要は少し地盤が低い場所とかを含めて、というご参考でちょっとこれを出してあります。

今回の台風12号で、ご家庭の周りでも非常に浸水をされた所があったと思います。市内で今回、339件床上浸水、そして床下浸水が3,774件、それから土砂崩れとかが約200ヶ所くらい起こりました。皆様もご記憶があると思いますが、平成16年の台風災害の時には、こちらの沿岸部の方が、海からの高潮で4千~5千世帯位が床上・床下浸水になりました。その後対策として高潮の為の堤防やポンプの設置をしていたんですが、今回の浸水はそうではなくて、「雨が大量に降ったため、中からの雨による被害になった」と分析しています。それで、芸文館の近くに倉敷市唯一の気象台アメダスがあるんですが、1日で183.5ミリの雨を計測しました。これは倉敷気象台始めて以来の分量で、ちなみに郷内小学校、土砂崩れが起こりまして、なんと413ミリ降りました。それで、こちらの第一中学校に市独自で設置した雨量計では、大体217ミリ降ったと計算しており、今までで一番の雨量だと思っております。それによって西部排水の方から水が、最終的には大西の排水機場を通過して高梁川の方へ抜けるということ、それから各用水の方へ水が行って流れるはずなんですけれども、それが雨の量が非常に多くてうまく行かなかったというのが、今回の地区の西阿知、片島、それから中島の地帯を含めて、浸水をした原因ではないかと考えております。こちらの地区もそうでございますし、今度こちらのJFEさんの方の高梁川に抜ける南連島地区も、やっぱり同じ様に各排水からこの汐入川を通じて高梁川に出る所のポンプの容量が、こっちのポンプは県で、さっきの大西の方が市の分なんですけど、両方ともフル稼働したんですけども、容量が足りなくて浸水を起こしてしまいました。玉島の方もやはり同じで、粒江、粒浦、吉岡川、藤戸が大変浸かった場所でございます。河田副市長は、粒江に住んでいるんですが、丸1日位家の周りがプールになっておりました。そこは児島湾の方に行く倉敷川水系で、倉敷川・吉岡川から来るこっちの児島湖が、途中で水門があります。この水門が外の海との干満の差で開けられなくて、開けても水が抜けなくなり、こちらの上の方にある川の水が、水門を開けても逃げないため、いつまでたってもこの倉敷地区の方の水が抜けないという状況になりました。この児島湖の排水対策をしていただきたいと、昨日県に要望に行ったところでございます。高梁川、こ

れは一級河川で、国の管轄ですので国土交通省の方に、川を絶対切れないようにしないと
いけないというのは国・県・市の共通認識でして、今のところ、切れるようなことには勿
論なりません。非常に嚴重に造っておりますが、更に、この地区の水量を少し緩和できる
ような方策を国の方で考えていただいているという状況になっております。排水・浸水対
策は非常に重要であり、温暖化で急激な雨が降らないとも限りませんので、今回のことを
ひとつの大きなきっかけにしまして、対策をとっていきたいと思っております。

あと2点、まず道のことでございます。バイパスが以前非常に混んでいましたが、途中
の橋の所までを4車線化、国の方に最近していただく事ができました。大西の交差点は非
常に混んでいましたが、前よりは随分良くなってきたのではないかと思います。そこから
橋を渡る箇所の4車線化は、ちょっと難航しております。いつ直ぐ出来ますということは
まだ言えないですけれども、引き続きやっていただけるということは決まっています。

それからイオンの前の道は、今すぐその出所までで止っていると思っております。この道
路の名前が、金光―船穂―倉敷線となっております。県が都市計画道路として造ってい
る分でございます。それで、この地区の大きな道の構想としては、元々このイオンの増床
とか、駅の北側のヨーカドーや三井アウトレットが出来るということは考えてなかったん
です。イオンさんが増床を9月にされました。皆さん大変ご心配されていると思いた
すが、今度は駅の方で大きな商業施設が来ます。それで、車の分量も増えると思いた
して、この道を県の方で発表されているかどうか判らない段階で、日にちは私も聞いてないんですが、
今のところ、今度の駅北の施設が出来る前には、これを開通していただける予定と聞いて
おります。

もう1つが、ここからずうっと行きまして、ずうっと通りましたら、実は途中で岡山県
南部水道企業団の所がございます。そこからちょっと左側の所に、川の方に向かって、少
し工事をしたり、土地を整地したりしている所をご覧になられているかと思うんですけ
ども、実はイオンの前から、イオンの方から来ましたら、真っ直ぐにこちらの方に参り
ます道と、途中で右の方に岡山県南部水道企業団の方から曲がって、柳井原の方に抜ける道、
つまり倉敷市と、船穂、真備町の幹線になる道を、今造っているところです。橋がそち
らの方に繋がって出来る様に、今工事を進めております。予定では、平成27年度中に、南
部水道の所から右に行きまして、柳井原の方に抜けて、真備、船穂に、今ちょっとこち
らの橋から行っていただいていると思うんですけど、直接行き易くなる幹線道路の整備を
しているところでございます。

ちなみに先日、7月位に、市役所の東側の方に有りますインターの方から南に出てくる
生坂―二日市線という道路が開通しました。アンダーになる大きな道路ですけど、それ
もこのような形で市の中心部を囲みまして幹線の大きな、駅がここにありましたら、真
っ直ぐ行ってこちらに繋がる道、船穂・真備の方へ行く道、今申しました生坂―二日市
線といまして、こちらの右の方、東の方の幹線、それから、バイパスの方から玉島の方
へ行く道と、そういう形でまちづくりを進めてやってきているところでございます。先
ほど申しました駅の北の新しい施設、今度11月25日にイトーヨーカドーさんのア
リオ倉敷がオープンしまして、三井アウトレットが12月1日にオープンすると、先
日発表されました。その間にある倉敷みらい公園ですが、用水路をはさみ、約2
ヘクタールの公園を確保いたしました。勿論ショッピングも楽しんで頂きたいです
が、倉敷市に來られた皆さんに緑と水のいい公園だと思っただけのように思っ
てます。ここが1ヘクタール位の公園と

用水になっておりまして、元々あったクラボウさんの樹木なども随分残しまして、芝生の公園として使う予定でございます。それからマンホールトイレとかの防災の機能も随分付けました。炊き出しが出来る機能も付けております。あとは木陰のデッキやLEDの照明も付けております。全体像ですが、チボリ公園の時には、外周部分に歩道があったりなかったりという状況だったため、地元の皆さんからご要望をいただきました。ここが片道300メートル位でございます。木陰が多くあるいい所にする予定なんですけど、周りの敷地、この辺は商業施設の敷地なんですけど、配慮していただいて周りを緑地の所を取っていただいて、歩いていただけるように造ってもらっております。ここを1周しましたら1.4キロのコースになっており、これが300ですので、8の字に回っていただいたら、合計で大体2キロ位のお散歩コースになります。倉敷の中心地域で、緑の中を散策していただけるのではないかと考えております。

まちづくりであと1点。西阿知駅に、この3月にエレベーターを配置させていただきました。市内でも3番目、1日に5、200人位が乗り降りをする駅ですので、何とかエレベーターを付けたいと思っていましたところ、国の補助金が、ちょうど平成22年度までだったら使えるというのがありましたので、何とか早回しに工事をしました。合計が約2億円位かかったんですけども、便利になっていけばいいな、と考えております。

子育てのこととか環境のこととか、色々お話をしたいこともあるんですけども、いったん、今この地区を巡る現状報告という事で、お話をさせていただきました。

それでは「地域力を活かすまちづくり」、何でも結構ですのでよろしく願いいたします。

《参加者Aさん》

今日は2点。1点目は、環境に関する事で。昨日の報道でフランスのパリが電気自動車の貸し出しを始めましたよね。市内に充電器をかなりの数配置して、電気自動車を市が有料で貸し出し、それを一般市民の足として使っていただこうとパリが始めました。まだインフラ的には厳しいとは思いますが、環境・観光都市倉敷と、色んなことに観光のまちですのでパリに負けないように、早めに市民がそういうライフスタイルに移行できるようにがんばっていただきたい。

2点目。精神疾患に対するサポートのお願いです。専門的には、ナラティブセラピーとか、話すことによってその人のストレスを解消したりとか疾患に関わる色んなものを直すとか低減して行くと。主としてはピアサポートという形で、そういう人間を養成しているようなんですが、保健所等に問い合わせると、そういうスタッフは実際なかなか育っていない。ニーズとしてはたくさん有るけれども対応出来ないのが現実だということで、心を傾けて聴く傾聴ボランティアというのはあるけれどもなかなか実働できていない状況なので、物理的な支援ではなくメンタルな部分で話を聞く、そういうことが非常にいろんな面で負担の軽減となるということですので、そういう面で活動できる方の養成・育成を是非お願いしたい。この2点です。よろしく願いします。

《市長》

はい、有難うございました。1点目は電気自動車の設置・活用で、ご存知のように三菱自工さんが、世界最初の量産型の電気自動車アイミーブを作られまして、全部この水島で出来ております。それで市でも勿論購入し、公用車で使っています。貸し出しという面で

は少ないんですが、今3台市民の皆様には試乗という形で貸し出しをしております。あと観光客の皆様にも予約をして土日に電気自動車に鷺羽山や瀬戸大橋の方に行っていただいて、電気自動車を体験していただいておりますが、実は去年からやっております非常に好評を得ています。多分日常の足として電気自動車をもっと使えるようにと行って下さったと思うので、そこまでは、まだ行ってないんですが、電気自動車、環境の普及については進めていきたいと思っております。

ちょっと話が違いますが、環境面で、市が最近非常に力を入れておりますのが、太陽光発電の推進です。私が市長になる前には大体、太陽光発電の補助が百数十件位の件数ということで、年間の補助金予算を取っていたんですが、私が市長になりましたから、今平均1年間で1,000件の太陽光発電の申請を受けるようにしております。今年は原発のため非常に関心が高まり、1,500件位は来られるのではと思っておりますので、予算を増額しているところです。太陽光発電の補助は今後も続けていくつもりでございますので、重量制限の関係から付けにくいところもあるようですが、色々なタイプも出てきていると聞いておりますので、ご検討いただければと思っております。環境のことはしっかり進めて行きたいと思っております。

それから、精神障がいの方に対するサポートですが、倉敷市の施策はこれまで非常に遅れていたと思っておりますので、昨年、今年あたりから、その精神障がいのある方へのサポート、或いは精神障がいに対する理解を深める活動をしている段階です。その中で各地区で、今言っていたような、他の方にも進めて頂ける様な理解者を増やすという、今そういう段階です。一足飛びに進まなくて申し訳ないんですけども、まず理解者を増やして、話を聞いたり色々相談をしたり出来るような体制を作っていければと思っております。はい、有難うございます。

《参加者Bさん》

2つあるんですけど、1つは倉敷みらい公園のこと。恐らく公園がオープンすると、車や徒歩の方以上にやっぱり自転車が一番増えると思う。節約ということもあるし車だともものすごく渋滞して、案外少ないと思うんです。駐車場も今、結構増えてますけど、恐らく今の駐車場の数だけでは、満杯であふれると思います。そうしたら皆さん考えることは、公共のバスや自転車を使ったり。特に一番多いと思う自転車は色々問題があって今、駅前の自転車がもうぐちゃぐちゃになっている。だから我々市民もきちんとやるべきことはやらなきゃいかんんですけど、行政の方でもきちんと、定期的にコントロールをしていただきたいのが1点。

第2点は人材育成について。企業の場合は新しい社員を採用しますね。私が勤めた会社は半年もしくは3ヶ月、採用した人間を早く職場に慣れさせるために、早めに来さすんですよ。で、採用について、例えばイギリスとか、アメリカとか、大手の会社であれば支店とか、営業所に出ますよね、アメリカの。そうしたら現地でそのハーバードを卒業した学生を、アメリカの社員として採用するわけです。そういう経験が無い子が日本からパーンと行くと、なかなか慣れない。まず言葉がだめ、生活とか政治、経済、文化が良く判ってないから、なかなかその、民間の場合は営業マンから企業を盛り立てるので、そういうことが出来ない。それを市に振り返ってみて採用が決まったら市役所に出て来て勉強さ

すとか、仕事に慣れさすとかやられているのか知りませんが。

市議会で、ある女性が非常に熱心に勉強してたんで声を掛けたら、来年4月に市役所に入庁するので、市役所の業務や市議会、市長さんについて知りたくてと、というような非常に関心がある子がなかにはいるんですが、全般的には無関心な人が多いです。それでは今のスピードでは遅いと思うんですよ。民間は実際そういうことをやっていますんで、市役所でもやっていただきたいと思いました。市長のお考えをお願いします。

《市長》

はい、有難うございました。まず、倉敷みらい公園のことについてですけど、今の民間の事業者さんの説明では、年間800万人の方が来られると言われております。今、イオンさんには年間1200～1300万人来られております。で、その3分の2位が、ヨーカドーさんの方にアウトレットに来られるんじゃないかと、今計算をされております。ただ1つには、全く新しいお客さんが800万人来られるわけじゃなくて、地域のお買い物を毎日される方も、ヨーカドーさんですので買い物に来られます。そういう方も人数に入っております。県外から来られる方も沢山いらっしゃいますので、その800万人がどの位になるか、実際はちょっとまだまだ判らないんですが、市としては、なるべく自動車で来られないようにとか、それから遠くに停めてもらえるようにとか。実はなるべく倉敷の南側の方に回って美観地区の方に行って頂かないといけないこともありますので、インターからの誘導を、そうしてもらえようをお願いしているんです。今、Aさんが言われたように、市としては自転車に来て頂ければ一番有り難いのですが、なかなかそうも行かないのかなと思ってまして、事業者の方に、車の駐車場の台数を出来るだけ確保するよという事で、敷地の中に2,600台分の駐車場を、高層にして確保するようになっています。その駅の駐車場がここ、それからこちらの平面駐車場、こちらの平面駐車場、立体駐車場、駐車場ということで、今この中だけで2,600台と、それから前使っていて今閉まっていたんですけど、すぐ上の所にある県の駐車場が大体700台分位はありますので、これも今のところは使えるようになる予定でございます。今イオンさんが開いたので、イオンの臨時駐車場という形で使ってもらえようというふうに聞いておりますが、なるべく混雑になりにくいように自転車に来ていただければと思っておりますが、特に自転車に来て頂く方が増えれば、ごちゃごちゃに置いたりしてはいけないんで、事業者の方にしっかり自転車対策をするように申し上げたいと思っております。

それから2つ目の人材育成の話で、今インターンシップとかのお話をして下さったんですが、確かに重要なことだと思っております。例で言うていただきましたが、アメリカの方でも、夏休みの間に大体1年の夏休みはここに、2年の夏休みはここにとか、関心がある企業や弁護士事務所に手伝いに行って、こういう文化があるんだなあととか、こういう仕事なんだなあとかが判るということは、非常に自分にとっても会社にとっても、学生たちの社会勉強の上でも重要だと思っております。市役所でも、夏休みにインターンシップの受入を、数は少ないんですけどやっております。市内の企業さんでも、例えばケーブルテレビさんなんかもやっておられますし、倉敷市の、例えば市立短期大学、児島の大学でも休みの時に企業の方に伺っています。市としても若い世代の皆さんたちに、社会になるべく早く接してもらおうことが非常に重要だと思っており、中学生・高校生の皆さんに、企業のインターンシップを見て、働くということについて重要な体験をってもらうことを、

市としても進めたいと思っております。勿論市として受けるということもやっているんですが。それ以外でも学校の、荒れた学校というのが問題になっておりまして、幸い倉敷市では暴力の数は、県内では少ない方だったと思うんですが、岡山県としては全国的にも数が多い方になってしまっており、非常に危機意識を持っています。自分の周囲だけ、知った世界だけでいる子供だと、段々煮詰まって暴力に走りやすい傾向があるとも聞いてますので、小中学生でも、地域のお祭りや地域の福祉施設で発表したりして、社会性を培っていく事が非常に重要ではないかと思っております。子どもさんが地域に接する機会を増やしていただけるよう皆様方をお願いできればと思っております。

《参加者Bさん》

私がおった会社では、新規の大卒と中途採用を入れたんですが、業績がものすごく上がりました。企業は、ヘッドハンティングした優秀な人に新入社員を指導させたりして、爆発的に活性化するんです。だから市役所でも、そういうことも考えてはどうでしょう。

《参加者Cさん》

西阿知ボランティアすみれ会と西原和老会にお邪魔させていただいてるCと申します。市長さんをお願いしたいんですが、私たちは西原和老会でホームグラウンドが河川敷なんですけれども、この前の水で全然使えないんです。向こう側に平成公園があつて、それを西阿知の方が使われて、その後を私たちも使わせていただいています。トイレが無いので、一基だけでもトイレを設置していただけたらと思います。グラウンドゴルフは高齢者の方が多く、寒くなればトイレも近くなり、ここが開いている時にはこちらを使わせていただいています。先日、ここがお休みのため駅まで自転車でいった方がいるんですが、道路を渡っていて、もし交通事故にあったらと思うんです。その点、どうかお願いいたします。

《市長》

公園へのトイレ設置ですけど、公園の大きさによって、設置基準がまずあると思います。もう1つ、トイレが出来た場合、管理を地域の方がやってくれるのが通常です。つまり公園というのは地域の皆さんのご要望で造って、それで色んな面の管理をお願いすることになりますので、地域の皆さんとのご相談がいずれにしろ必要になると思うんですが、今のご要望も頭に入れまして、利用状況や地域の皆さんとお話をする中で検討させていただければと思います。

河川敷の方も、なるべく早く復旧をと思っております。河川敷の方も国のものなので、他の用途に使ってはいけないというのが本当はそうなんですが、市の方で国に申請して、水が少ない時とかには使ってよろしいという許可を貰っております。ただ復活に期間がかかってご不便をされていると思いますので、何か他の地区で活用できる所があればと思うんですが、いずれにしろトイレの面については検討させていただきたいと思います。

《参加者Dさん》

先日台風12号で避難がありましたけど、避難勧告とか避難命令が出た場合、我々住民

にはどのような連絡になっているのでしょうか。広報車は家におったら聞こえないし、携帯では年配者はサッとはできないので、どのような連絡になっているんですか。

《市長》

いいご質問をいただきまして有難うございます。まず、避難勧告について申しますと、一番軽いのが避難準備情報といいまして、雨が強く水が増えてくるかもしれないので、避難の準備をとる避難準備情報でございます。ただ、体が不自由で公民館の方に逃げるのに時間がかかるとか、すごい心配だという思いを持ったら、避難準備情報の段階で公民館の方に避難を始めてもらった方がいいです。避難勧告というのが次の段階で一番多いもので、これは避難を勧めますということです。つまり、この地区には危険が迫ってきていますので、逃げていただきたいというのが避難勧告です。その次が避難指示といいます。これは、逃げてくださいということです。この3つを総称して「避難命令」と言われています。今回の台風12号では、避難勧告は児島の地区だけに出しました。それは、大池という池から随分水が溢れていて危ないんじゃないかと、現地の方から報告がありましたので。避難勧告を上町1丁目、2丁目、3丁目と出しまして、良く調べまして5時間位したら大丈夫となって解除したんですが、他の地区は出ませんでした。

9月3、4日が台風12号でしたが、直前の9月1日「防災の日」朝7時45分に、今日は防災の日です、と色んな各地区に付けているマイクを通じて実は私が言ったんです。それが聞こえた方は、ちょっと手を挙げて頂けないでしょうか。10パーセントぐらいでしょうか。有難うございました。今日は10月4日ですね。毎月1日の朝と夕方に、鳥のピョピョピョというのを朝7時45分位に流れているのを聞いたことがある方は？有難うございます。15パーセント位です。ここだったら西阿知小学校には付いているはずなんですが、これまでは市の広報車で回っておりました。今も勿論回っておりますけれども、広報車で回っておりました。それだけだと回るのにもなかなか時間がかかるので、市の公共施設の上にスピーカーを付けてまして、避難勧告を出した時には、そこからどこどこ地区に避難勧告が出ましたとか、例えば、ないですけど、高梁川の水位が上がってきましたとか、そういうことを言う為に付けております。急にやっても聞こえなかったら困るので、毎月1日に、防災の日が9月1日ですので、朝の7時45分と夕方の5時半に、ピョピョピョという鳥のさえずりみたいな音を出して聞こえるかどうか点検しているんですが、あまり皆さん気付いていらっやらない。実は同じ物を使って、9月1日に、今日は防災の日ですと放送したんです。聞こえないと言われ、どういうふうにするべきか検討しています。ただ、もし弾道ミサイルが飛んで来たり、震度5くらいの地震予報がきた、という時には市内にあるピョピョ言っている分が、一斉にウォーンとものすごい音を流すようにしてるんです。広報車は勿論やりますし。今NTTドコモさんと契約をしまして、携帯電話に、避難勧告以上の情報が出たら、メールの契約とかしてなくても、音が急にビービービーと鳴り出して、〇〇地区には避難勧告が出ましたと流すサービスを今回契約しました。今後auとか他の分もサービスされると聞いていますので。FMくらしきの、こくっちというラジオがあり、それは市の方から緊急情報が入ったら、スイッチを入れて無くても自動的に大音量で鳴り出します。ただ、課題も残っておりますので、色んな手法から避難情報をお伝えできるようやっていきたいと思っております。

《参加者Eさん》

西阿知駅南側の通学路の歩道の方にJRの法面の雑草がものすごく覆いかぶさっています。それを市の方からJRの方へ刈ってもらえるように要望してもらえませんか。水工のテニスコートがありますけれど、その方なんです。この頃は全然刈らんのです。前は刈っていたと思いますけど。通学路で、子供が車道の方を歩くようになるので。法面からずっと下の方へ茂って歩道を塞いでいます。

《市長》

要望は勿論いたしますが、地域の方からも要望していただかないといけないとは思っているのですが。また後で場所を教えてください、市でも確認してJRさんに。法面はJRの法面ですか。

《参加者Eさん》

多分そうだと思うんですが、そこのところはちょっと判らんのです。

《参加者Fさん》

今でもチボリがなくなったのは非常に残念です。イトーヨーカドーさんが来られると心配な事が、地域の商店街です。これをどう立て直すかというのと、市長さんが出られた時に、駅の立体化を進めとったらチボリが生き残っていたんじゃないかなと。その辺の予定とか教えてもらいたいと思います。

《市長》

最初の、新しく来る商業施設と市内の商業との関係ですが、倉敷の商店街、それから商工会議所の皆さん方の今のご意見では、この800万人の内多くは新しく来られる方と思っているということです。その中で、美観地区の商店街だけでなく大野昭和齋さんの記念館、磯崎眠亀さんの所、玉島とか児島とか色々な所に行ってもらいたいと思っております。ですから、観光パンフレットを向こうで置いてもらったりPRをしてもらったり、市の土産物も取り扱ってもらったり。まだちょっと具体的には決めていないんですが、県外から来た人にショッピングの所だけじゃなく、みらい公園も含めて倉敷市の色々な所や良さを知ってもらって、また来てもらえるような方策を考えたいと思っております。

もう1つ、JRの高架について。これは岡山県の事業ですが、お金を出すのは県と市と国とJRの4つです。国とJRと市は準備が出来ているんですが、事業主体の県が非常にお金が無いということで、なかなか進まない状態です。平成10年に決まって今10年位経っております。この7月に、県知事の所に倉敷市議会と市長、副市長とで行きまして、駅周辺の新しい状況を説明しましたら、知事の方もこれまでは、お金が無いだけだったのが、今回は、これまでとは新しい状況が出来てきているので、ということは判りましたと言われました。県としても、倉敷市は、今岡山市が政令指定都市になり県と同じになっているから、県の一番の相手というのは県内では倉敷市が一番のはずなんですね。ですので、もっと倉敷市の方に色々な施策をしてもらいたいと思って、色々とお願ひに行っております。

す。昨日も、先ほど申し上げた児島湖のお話とか、観光PRの面とか色々お願いしたんですが、その中でもJRの高架は、とにかく倉敷市にとっては必ず必要な事業だと思っておりますので、これからも進めていくように、それから区画整理事業も市内の皆様のご協力が必ず必要ですので、ご理解を得て進めていくようにがんばって行きたいと思っております。

《参加者Gさん》

今日もですが、こうしてここで会議や行事があった時に、本当にここは駐車場が無いです。実はこの隣に公園が出来る時に、地域の皆さんが造ってください、造ってくださいと言った時に、その条件のひとつとして、公民館で1年に1回大きな行事があるんです。皆さん講座もたれている方の発表会として文化展があるんですけど。駐車場所をJAさん、ちょっと離れて小学校をその都度でお願いしては不便だから、その時の駐車場の為に公園をつくるんだという事で、皆さん署名されたそうです。でも結局駐車場が無くて、今回も遠くからでも、ふれあいトークに参加する方達に、車で来てくださいと言えない。今日の6時から8時まで駐車場所を貸してほしいということの色々連絡されたそうです。でも公園緑地課でもNoだし。年に何回かの行事の時だけに、あの公園を駐車場として貸していただく事が何故できないのか、何処に言ったらということと、最初の皆の気持ちがそこへいってないのは何故かを今日は市長さんにもお願いしたいと思います。

《市長》

判りました。この西阿知公民館は元々駐車場の台数が少ない所ですが、直ぐ近くには場所が無いというのがありまして、公園を駐車場として使いたいという最初の時のご要望と経緯を私も見てみます。基本的には、公園の敷地の中に駐車場のスペースがあれば停めていいんですけど、無ければ本当は停めてはいけません。もし本当に駐車場を造るとなれば、公園の区域をある程度切って、駐車場を造るということも考えられるとは思いますが。地域の皆さんのご要望で公園ということは勿論覚えておりますので、もう一度経緯を確認してみたいと思います。

《参加者Hさん》

要介護の母親を在宅で介護しております。最近知ったんですが、大学の方と避難場所の提携をされたそうで、とても有り難い事だなあと。私の母親がお世話になっている地域の支援センターが各地区にあります。地域支援センターも避難場所に指定という形で話が進まないかと。私の家の裏がマスカット球場のすぐ近くなんです。5階建ての病院、病床、高専が入る施設が今建てられています。地元説明会のおり理事長が、私が要望したらそれは判りましたと言うて下さいました。なるべく近い所に避難場所があれば有り難いと思いますので、是非とも考えてみていただきたいと思います。

あと1点、この前の市民後見制度のセミナーの話聞いてきたんですが、聞いた限りでは倉敷市の対応としてはまだまだだと思います。非常にいい制度ですので、どうぞ進めていく形でやっていただけたら有り難いと思います。

《市長》

はい、有難うございました。最初は避難場所の件ですけれども、今、黄色や青のハザードマップには、公の市の施設を避難場所にするとなっております。それに加えて、この前川崎学園とか作陽大学、芸科大、岡山学院大学等の大学設備も使わせていただけるように協定を結びました。また、広江にJFEさんの広いグラウンドがありますので、そこも貸していただけるようになりました。今徐々に、民間施設の避難場所も増やしてきているところです。避難場所に市の職員が全部伺えるかどうかの問題もでてくるかと思うんですが、福祉施設などについては、避難場所としての機能自体をお願いをするようなことも今検討しているところですので。今後、より身近な所で、避難場所となるような所ができればと思っております。

もう1つの市民後見制度については、確かに遅れておりまして、今、他市の制度等を見ながら進めているところです。市としては進めていきたいという思いを持って制度を始める準備をしているところですので、ご意見いただきまして有難うございました。

《参加者Iさん》

公園が出来るのは、はっきりしてないんですよ、その公園が出来る時にイオンの前の道路も開設するというので大体でもいいですから、今度道路がいつ頃開通できるのか。

また、先ほどグラウンドゴルフのトイレの件が出ましたが、片島に公園をつくりまして、公園を造るときにグラウンドゴルフをやっているんですよということで、2回位やったんです。その為には、距離を測って印をしないといけないんですが、3回目に行ったら何でこんな所に杭を打つんだということになった。それは立候補する為に使っているんですよという答えだったと思うんです。そういうペテンでは困るんです、出来なかったら出来ない、この公園はそういうものではないと言ってもらえればいいんです。グラウンドゴルフが近い所に出来ますよということで、皆が喜んでおったんですよ。今は堤防の公園まで歩いて行っています。それからトイレが無いから女の人はどうせ行っても駄目だろうと。今は、子供が遊ぶ公園になってますけど。

《市長》

その道ですが、私が聞いているところでは、この公園は11月23日、イトーヨーカドーは11月25日、三井アウトレットは12月1日ですので、この3つがオープンするまでには、開けていただけると市としては理解しております。まだ、何日ですという発表にはなっていないんですけれども、今年には通れます。今日の前にあって、最終の調整をされておると伺っております。

それでは時間もちょっとオーバーしまして、恐縮ではございますが、途中でちょっと地震がありまして心配いたしました。今日は色々なご意見をいただきまして大変有難うございました。倉敷市のまちづくりに努めてまいりたいと思います。今後とも色々な場面で、ご意見を賜ればと思っておりますので、今日は大変本当に有難うございました。今後ともよろしく申し上げます。